



北光だより

甲府市立北新小学校
令和5年6月19日
No. 3
校長 雨宮 秀樹

災害に備えて

6/1（木）引き渡し訓練へのご協力ありがとうございました。児童が学校に登校後、震度5弱以上の地震が発生したときには、保護者のお迎えがあるまで、児童は学校での留め置きとなります。災害時には電話が通じなくなったり、交通機関が使えなくなったりすることも考えられます。お家の方のお迎えも時間がかかることになるかもしれませんが、その間、学校で安全確保を図ります。



先日、山梨県内における「大規模地震の被害想定」が公表されました。県内にも、糸魚川－静岡構造線断層帯や曾根丘陵断層帯など、地震の際には大きな被害が想定される箇所が少なくありません。災害時の対応について、是非ご家庭でもお子さんと一緒に話をしてみてください。

また、6/17（土）には、本校を会場にして「水害避難の地区研修会」が行われました。集中豪雨や大型台風など近年頻発している水害時の対応について、指定避難所である北新小学校の体育館・校舎を使つての実践的な訓練でした。北新連合自治会の14自治会からも、約70名が参加して研修を受けました。昨年の秋には、北新小学校校庭（体育倉庫前）にマンホールトイレが作られました。災害時には、プールに溜まっている水を使って、仮設トイレの汚物を強制的に下水道管へ排出できる仕組みになっています。地域の皆さんへの説明会も、後日計画されているようです。万が一の事態に備えて、準備を怠らないことが減災の第一歩となりそうです。

交通安全教室

感染拡大防止のために自転車の貸し借りに制限がかかるなど、ここ数年、交通安全教室・自転車教室の内容も、映像を視聴をしたり講話を聞いたりしながらの学習となっていました。5類移行に伴い、今年は4年ぶりに実地での交通安全教室・自転車教室が開催できました。6/7（水）1・2年生は横断歩道の渡り方、3・4年生は自転車の乗り方について、それぞれ2学年合同で行いました。道路の横断時には、手を挙げて（ハンドサイン）車の運転手に気づいて貰うようにすること、自転車に乗るときには、ヘルメットを着用することなど、自分の命と安全を守るために必要なことを学びました。



同日の放課後には、交通少年団（4・5・6年生9名が所属）の結団式を行いました。北新交通少年団は、甲府市内でも活発に活動している団体です。今年も、交通安全リーダーとしての活躍を期待しています。

水泳学習が始まります。

関東甲信越の梅雨入り宣言が出された6/8(木)、雨が降り出す前のタイミングで、プール清掃を行いました。プールサイドのゴミを掃いたり、プールの壁や底の汚れを擦り落としたりと、今年も6年生が頑張ってくれました。ピカピカに輝くプールに水を溜め、翌週6/12(月)には、児童会代表児童とプール開きを行いました。今年は、2m間隔の身体的距離の確保や、プールの時間も黙って静かに・・・等の感染対策が緩和されています。天気や気温・水温を確認しながら、いよいよ子どもたちが楽しみにしている水泳学習が始まります。



毎年、本校職員は、「緊急時対応訓練」「心肺蘇生法訓練」「不審者侵入訓練」など、万が一の事態に備えた研修・訓練を続けています。また、水泳学習の時間には、保健室にあるAEDをプールに運びます。監視の職員も複数配置するなど、細心の注意を払いながらの学習をなします。是非ご家庭でも、健康観察・プールカードへの記入など、よろしくお願いいたします。

租税教室

6/14(水) 甲府法人会の方がお見えになり、6年生の租税教室が行われました。最初に、「この中で税金を払ったことがある人はいますか?」と問われました。互いに顔を見合わせながら・・・「自分たちも消費税を払ったことがある!」ことに気がつきます。「1個100円のドーナツをお店で食べた場合と、テイクアウトした場合の消費税の違いは?」「国民1億2500万人が、100円のドーナツをテイクアウトすると、消費税の総額は?」など、身近な場面から税金の話が広がっていきます。所得税・入湯税・森林環境税など税金の種類や、警察署・道路や橋・学校など税金を使って作られた公共施設についても考えていきました。この学習を通して、税金の使い道に関心を持つと共に、税金の使い道を決める国民の代表を選ぶための選挙の大切さにも考えが広がったようです。授業が終わった後、甲府法人会の方より「6年生がたくさん発言してくれた。みんな真剣に考えてくれて、とてもよい雰囲気です(授業が)進めやすかったです。」と、大絶賛していただきました。



演劇教室



劇団「たんぼぼ」による「お話レストラン」が開催されました。「ブレーメンの音楽隊」「大きなかぶ」が原作で、ストーリーが作られていたので、どの学年の児童も楽しんで鑑賞できました。「何を目標そうが自由!どこに行こうが自由!歩き出すことが大切だ!」というメッセージが、胸に残りました。